

平成25年11月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,889	8,379	4,202	4,177	5	1
2 千 石	3,400	6,685	3,385	3,300	11	5
3 内 山	4,857	7,109	3,831	3,278	△ 3	△ 6
4 大 和	3,175	6,602	3,306	3,296	10	8
5 上 野	7,233	15,553	7,599	7,954	△ 30	△ 44
6 高 見	6,384	12,500	6,017	6,483	29	26
7 春 岡	6,347	10,457	5,558	4,899	0	17
8 田 代	11,140	21,340	10,199	11,141	△ 10	△ 24
9 東 山	9,702	18,916	9,232	9,684	22	37
10 見 付	4,346	8,377	4,165	4,212	38	40
11 星ヶ丘	3,355	6,617	2,971	3,646	1	△ 15
12 自由ヶ丘	3,505	7,744	3,537	4,207	1	△ 15
13 富士見台	6,343	15,635	7,226	8,409	△ 8	△ 11
14 宮 根	3,674	8,389	3,969	4,420	△ 6	△ 11
15 千代田橋	3,605	8,766	4,100	4,666	△ 5	△ 2
千 種 区 計	81,955	163,069	79,297	83,772	55	6
H24. 11. 1	81,149	161,853	78,722	83,131	104	210
対 前 年 比	806	1,216	575	641	△ 49	△ 204
名 古 屋 市	1,035,225	2,272,332	1,119,276	1,153,056	1,071	952
愛 知 県 (H25. 10. 1)	2,994,489	7,434,996	3,714,009	3,720,987	1,520	1,018

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	125	121	4	961	959	2

【参考】

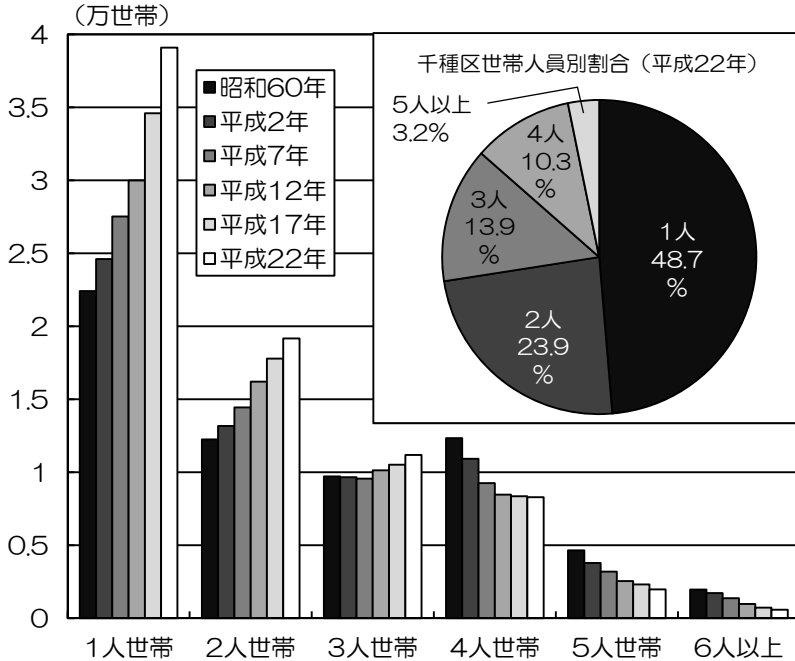
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	これまでの最少人口	
平成2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。(平成24年7月中の集計までは、毎月の外国人登録の異動数も加減して推計しています)

千種区の世帯人員別一般世帯数の割合

平成 25 年 11 月 1 日現在の千種区の世帯数は 81,955 世帯、人口は 163,069 人となり、1 世帯あたり人員は 1.99 人となりました。今回は平成 22 年国勢調査結果に基づいて、世帯人員別の世帯数を見ていきます。

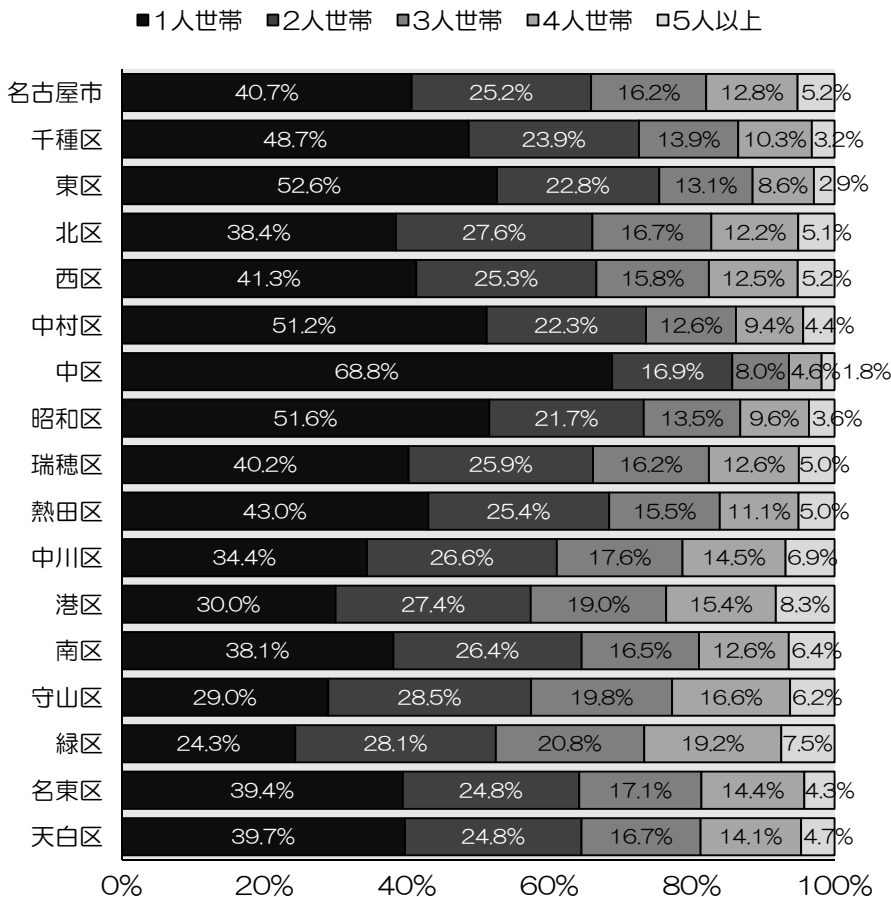
図 1:千種区の世帯人員別一般世帯数の推移（各年 10 月 1 日現在）



千種区の平成 22 年 10 月現在の一般世帯の世帯数を世帯人員別に見ると、1 人世帯（単独世帯）が約半数の 39,090 世帯（48.7%）と最も多く、次いで 2 人世帯の 19,169 世帯（23.9%）、3 人世帯の 11,192 世帯（13.9%）となっており、世帯人員が 3 人以下の世帯が全体の 8 割以上を占めています。

これを平成 17 年と比較すると、1 人世帯は 4,502 世帯増、2 人世帯は 1,387 世帯増、3 人世帯は 671 世帯増となっており、特に 1 人世帯の増加が著しくなっている一方で、4 人世帯以上は減少傾向にあります。

図 2: 各区の世帯人員別一般世帯数の割合（平成 22 年 10 月 1 日現在）



一般世帯数の世帯人員別の割合を各区と比較すると、1 人世帯の割合は、千種区（48.7%）は、中区（68.8%）、東区（52.6%）、昭和区（51.6%）、中村区（51.2%）に次いで 5 番目に高い割合となっており、名古屋市全体の平均値（40.7%）より高い値となっています。逆に 1 人世帯の割合が低い区としては、緑区（24.3%）、守山区（29.0%）、港区（30.0%）等があげられ、これらの区は 2 人以上世帯の割合が名古屋市全体の平均より高く、一世帯あたりの人員数が多くなっていることが読み取れます。